

An aerial photograph of a coastal town, likely in Japan, showing a mix of urban development and lush green forest. A river or inlet winds through the landscape. The text is overlaid on the right side of the image.

ICTの力で 江津市をもっと 元気に！

石見智翠館高校 第1学年 代表

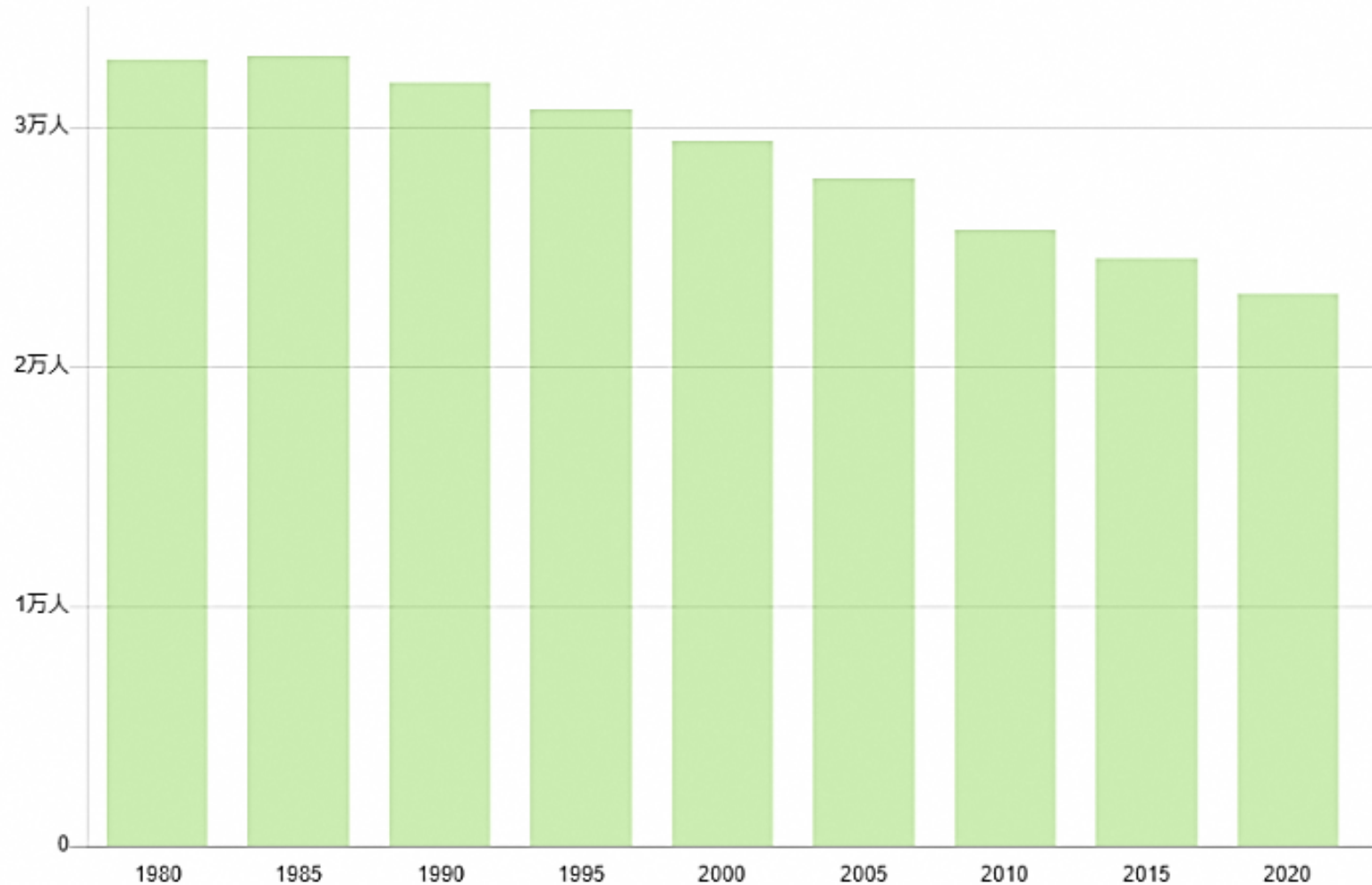
発表メンバー

- 中嶋奏太 (出身：島根県江津市)
- 市瀬穂乃香 (出身：茨城県龍ヶ崎市)
- 児玉悠亜 (出身：島根県江津市)
- 佐藤由一 (出身：島根県大田市)
- 春木心緒 (出身：島根県江津市)



人口推移グラフ

人口推移



2050年には、
14000人になる
と言われている。

人口増減率グラフ

人口増減率



人口が減るとどうなる？

良い点

- 自然が豊か
- 土地（活用できる空き家）がある
- 家賃が安い
- 水資源が豊富
- 古い町並みが残りやすい

課題点

- 経済的な自立（財政面）
- インフラ（道路などのライフライン、医療、教育など）の維持
- 人材の確保などが難しくなる
- 若者が必要とする施設の減少

大好きな江津市これ からも『持続可能な 街』にするためには？

- 人口が流出しないための取り組み
- 優秀な人材がたくさん集まる仕組み
- 優秀な人材を育てる仕組み
- 食材・人材の地産地消



私たちが着目したのは、ICTの力！

江津市都治町の農家さん (Mog-Mog Farm)を見学してきまいた！

こちらの農園では、これまでと違った
『ICTの力』を取り入れた
農業の取り組みをしていました。

産品 | いちご (江津市) 生産者 | 株式会社MOG-MOG



産品 | いちご (江津市) 生産者 | 株式会社MOG-MOG



！安全安心のイチゴを消費者に

株式会社M O G - M O G (モグモグ) は、水稲 (12ha) とイチゴ (15a) を営む農業法人です。社名は、「安全安心でおいしいお米やイチゴを消費者に、貼をしながら楽しく食べてもらいたい」との思いからネーミング。当時カーリング日本女子代表がモグモグタイムでおにぎりやイチゴを頬張っていたことも、きっかけになっています。高齢化が進む地域で衰退する農業に対し、家族経営から法人化することで地域の農業を盛り上げながら、商品価値の高い、消費者に喜んでもらえるイチゴづくり (紅ほっぺ、かおり野、豊姫、さちのか) に努めています。



**代表の藤井さんからお話をたくさん
お話を聞いてきました！**

これだけ広大な土地を管理しているのは、たったの2人だけだそうです。

その秘密はなんだろう？





これだけ広大な土地を管理しているのは、この機械のおかげだそうです !!

パートさんや技能実習生などもないそうです。



農園の目の前には、
生のイチゴが買える
自動販売機がありました！
なんとPayPayが使えました。

インタビューの中であった話

これまでは、多くの人手があって成り立っていたが、最近ではそれも難しくなった。

新しい技術を取り入れ、現状の中で（少ない働き手）でも成り立つ仕組みが今後は必要になると思う

ICTを活用いた農業は全国的にみたら、すでに取り組んでいる地域も多くあるが、まだまだ江津市では進んでいない



イチゴもとてもおいしかったです！

・新しいICT分野の活用は、
『**人**、**街**、**産業**』が活発になるための
ヒントかもしれない！

しかし、

それらを学ぶ機会は、
まだまだ少ないと感じます

ICTを江津のこどもたちが学べる拠点を！



**私たちが目をつけたのは、
徳島県のある町です。**

町ぐるみでICT拠点をつくる取り組みが行われている（徳島県神山町の取り組み）

移住者が自ら集まる町、神山町。魅力的な地域づくりのカタチとは？

#地方創生 #まちづくり #徳島県 #移住

公開日 2024.12.19



Lumiaarch
ルミアーチ

より引用

地方の過疎化が進むなか、独自のアプローチで外部から人材や企業を呼び込み、2011年には転入数が転出数を上回った徳島県神山町。多数のIT企業が町内にサテライトオフィスを置き、現在も多様な人々が集まり続けるその発展は「神山の奇跡」として全国的に注目されています。

「神山町の再生は『人を呼び込もう』『地方創生をしよう』という活動から起こったわけではないんですよ。僕たちはただ、自分たちの住む町をより楽しい場所にするべく動いてきただけです」

そう語るのは、認定NPO法人グリーンバレーの前理事長・大南信也さん。グリーンバレーは、徳島県神山町で「日本の田舎をステキに変える！」をミッションに、アート、移住定住、環境、働き方などの分野で地域づくりをしているNPO法人です。そんな神山町の再生を牽引してきた大南信也さんに学ぶ、これからの時代における地方創生のカギとは？



この町（神山町）のICTの拠点は
神山まるごと高専です。



私たちの提案

- ①子ども～大人までがたくさん集まり、
ICTを学び・活用できる拠点づくり
- ②ICTについて活発な地域の視察

ご清聴ありがとうございました

